創薬ベンチャーエコシステム強化事業
およびＡＭＥＤにおける創薬エコシステム推進活動について

令和８年10月13日

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
創薬エコシステム推進事業部

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

AMED Global Hub (Boston)　：　2026年9月1日開設



2026年9月1日　開所式



AMED Global Hub (Boston)
@One Broadway, CIC, Boston

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

AMEDにおけるスタートアップ支援一覧

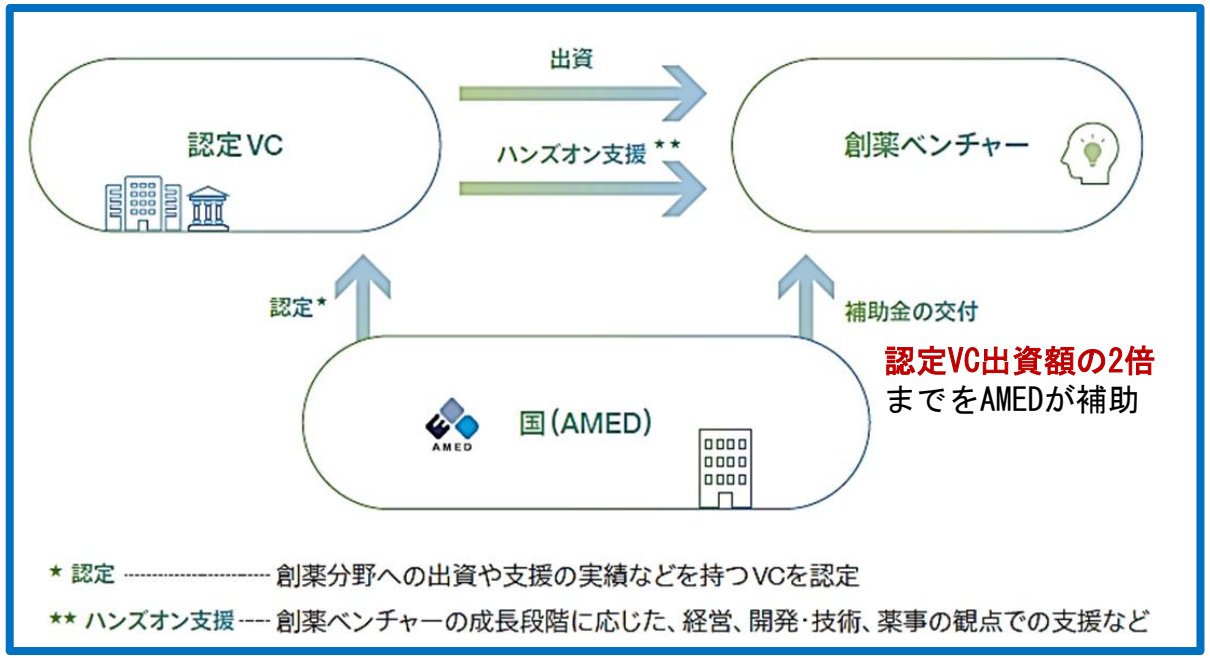


Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

https://www.amed.go.jp/chitekizaisan/start_up_shien.html

創薬ベンチャーエコシステム強化事業

【概要】



AMEDの「認定VC」が、創薬ベンチャーが行う医薬品の実用化開発に投資した場合、AMEDがその2倍額を補助金として追加出資し、実用化を推進する事業

https://www.amed.go.jp/program/list/19/02/005.html

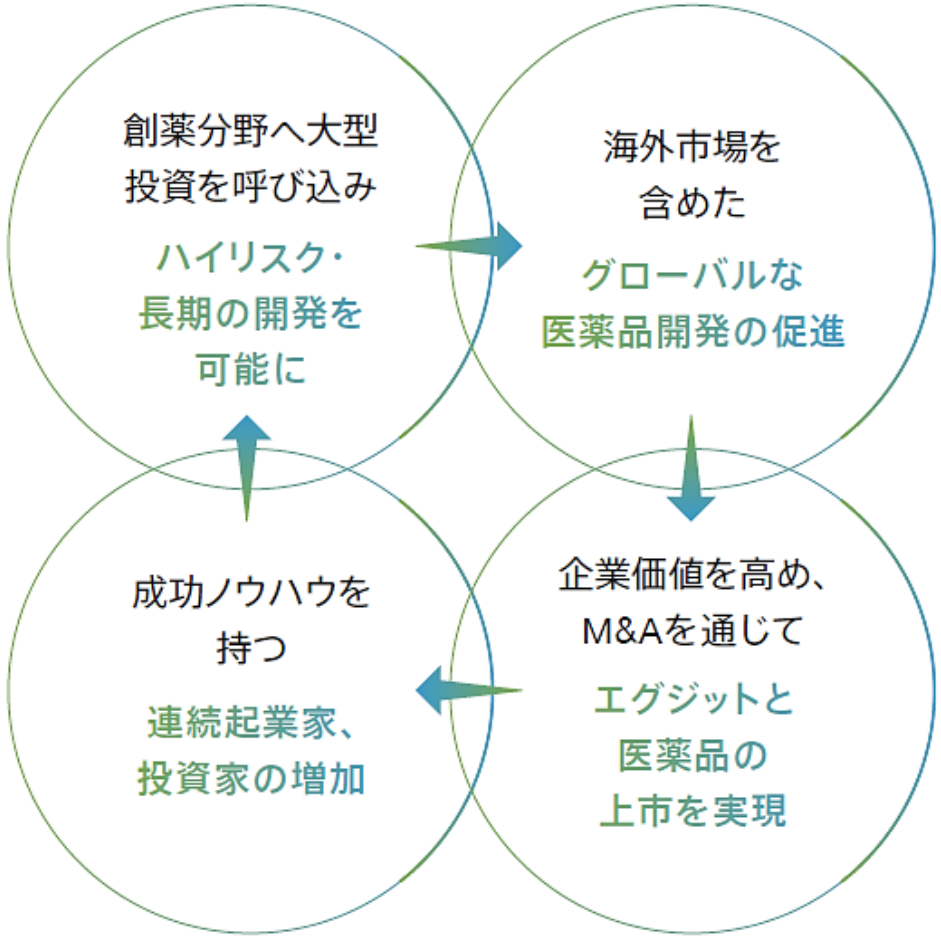
【主な内容】

- リード認定VC最低投資額：
  10億円
- 支援総額：
  100億円/プロジェクト
- 開発支援対象：
  医薬品（診断薬を除く）
  再生医療等製品
- 事業規模：
  3500億円（2021～2031年度）
- 支援範囲：
  非臨床試験～第II相(探索的)臨床試験
- 達成目標：
  POC取得もしくは、IPO / M&A

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

事業目標

日本における創薬ベンチャーエコシステムの強化のため、１つでも多くのグローバル基準の成功事例をつくることで、以下のような**相乗効果による好循環をつくる**ことを目標としております。

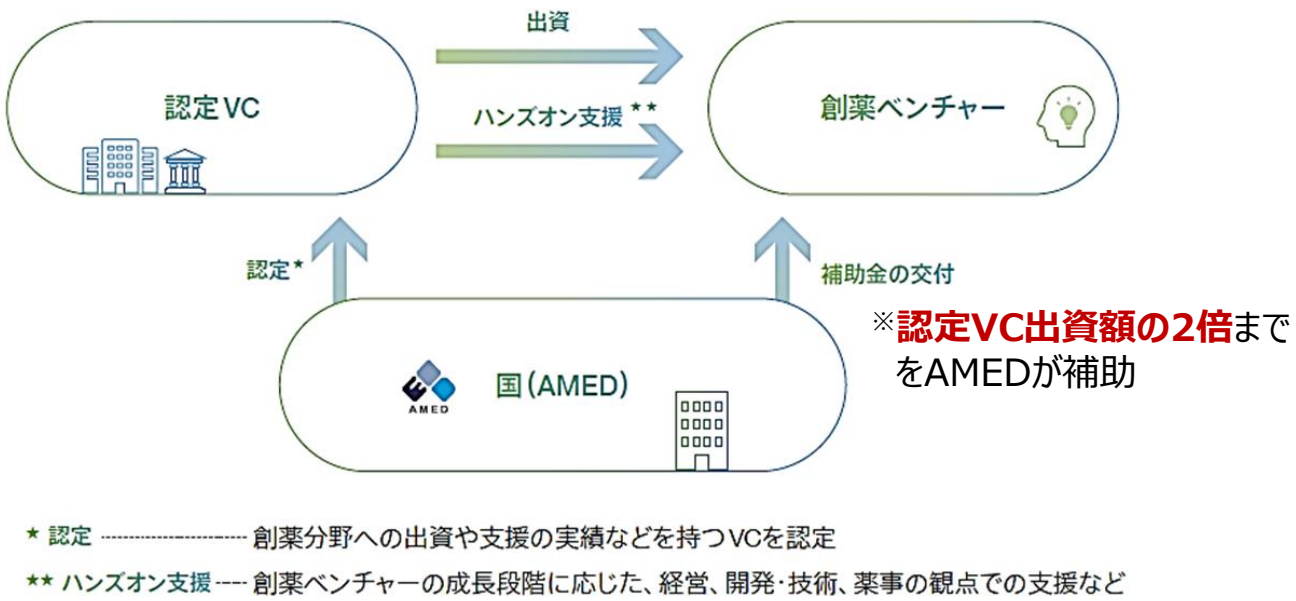


- 事業規模：
  3500億円（2021～2031年度）
- 達成目標：
  POC取得もしくは、IPO / M&A
- 支援範囲：
  非臨床試験～第II相(探索的)臨床試験

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

事業スキーム

- 本事業は、認定VCが補助対象経費の1/3以上を出資する創薬ベンチャーが行う医薬品の実用化開発にAMEDが補助金を交付する事業です。
- 公募は、AMEDが認定するVCの公募（**①VC公募**）、認定VCの出資を受ける創薬ベンチャーが行う医薬品の実用化開発課題の公募（**②創薬ベンチャー公募**）の2段階で行います。



- リード認定VC最低投資要件：
  10億円
- 支援総額：
  100億円/プロジェクト
- 開発支援対象：
  医薬品（診断薬を除く）
  再生医療等製品

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

創薬ベンチャー公募

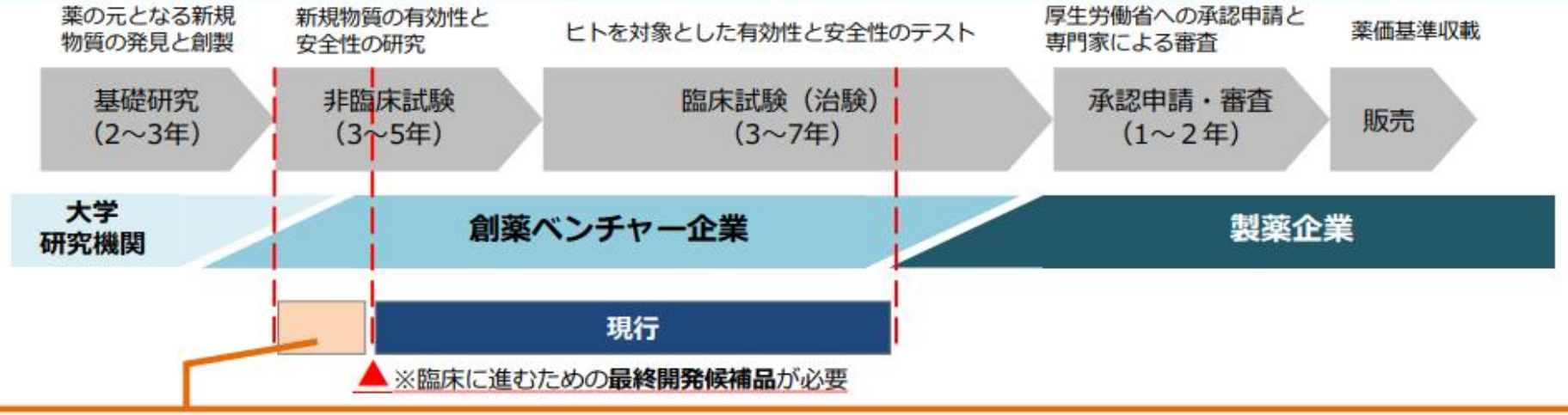
分野	補助対象経費の規模 （間接経費及び認定VC出資分含む）	研究開発期間	新規採択課題予定数
#1 感染症のワクチン・治療薬の開発のための革新的な技術開発	1課題当たり総額100億円まで（上限を超える提案も可能） ※AMEDは補助対象経費の2/3を上限に補助金を交付	最長令和13年9月まで（課題毎に設定）	0～25課題程度
#2 感染症以外の疾患に対する医薬品等の開発のための革新的な技術開発			

- 「医薬品等」には医薬品および再生医療等製品が含まれます。
- 研究開発期間について、研究開発計画書で設定する全てのステージゲート評価を通過することを前提に、最長令和13年9月まで研究開発を実施することができます。
- 遡及期間は、令和4年11月8日（令和4年度補正予算閣議決定日）以降から応募時までです。

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

創薬ベンチャーエコシステム強化事業の弾力化（アーリー支援）

- 臨床に進むための段階の資金需要を満たすべく、認定VCによる一定以上の出資を条件として、アーリーステージへの支援を行う。
- 厚生労働省や文部科学省の事業で開発支援しているシーズを、創薬ベンチャーエコシステム強化事業による治験費用の支援へとつなげ、**政府全体で、医薬品を生み出す創薬ベンチャーの成長に資するバックアップを行っていく**。



■アーリーステージへの支援

臨床に進むための段階の資金需要を満たすべく、**最終開発候補品を特定するまでの非臨床試験**についても補助対象に加える。

- バイオ医薬品や再生医療等製品において最終開発候補品を特定するまでの難度の高さに鑑み、非臨床試験について、認定VCから出資を得ていることを要件に、最終開発候補品を特定するための研究開発資金を新たに補助対象とする。
- **リード認定VCによるハンズオン支援及び一定以上の出資**（最低規模は1億円）を必須要件とする。
- 支援終了案件の**現行スキームへのシームレスな移行**が可能となるように制度を整備。

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

AMED認定VC

CVC

- Astellas Venture Management LLC
- B Capital Group Management, L.P
- Blackstone Life Sciences Advisors LLC
- Curie Bio Operations, LLC
- Cure Ventures Management, LP
- Deerfield Management Company, L.P.
- F-Prime Capital Partners (Impresa Management LLC)
- Mission BioCapital LP
- RA Capital Management, L.P.
- Taiho Ventures, LLC
- The Column Group LLC
- TPG Global, LLC

- EQT Life Sciences Group B.V.

- Newton Biocapital Partners 合同会社

- 4BIO Partners LLP
- SV Health Managers LLP

- ANV Management, LLC
- Catalys Pacific, LLC
- Eight Roads Ventures Japan
- Remiges Ventures, Inc./RDiscovery株式会社
- Saisei Ventures LLC
- 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
- 株式会社ファストトラックイニシアティブ

- Angel Bridge株式会社
- ANRI 株式会社
- Beyond Next Ventures株式会社
- D3LLC
- DBJキャピタル株式会社
- DCIパートナーズ株式会社
- JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社
- 大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社
- 京都大学イノベーションキャピタル株式会社
- 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ
- ジャフコグループ株式会社
- 大鵬イノベーションズ合同会社
- 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ（UTEC）
- 三菱UFJキャピタル株式会社
- みやこキャピタル株式会社

全38社

※コンタクト先：https://www.amed.go.jp/program/list/19/02/005_Capital.html

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

創薬ベンチャーエコシステム強化事業　採択課題

採択年度	実施機関	認定VC
2022 R4	エディットフォース株式会社	Newton Biocapital Partners
2022 R4	株式会社 Immunohelix	Remiges Ventures, Inc.
2023 R5	株式会社BTB創薬研究センター	京都大学イノベーション キャピタル株式会社
2023 R5	オリヅルセラピューティクス 株式会社	京都大学イノベーション キャピタル株式会社
2023 R5	株式会社レストアビジョン	Remiges Ventures, Inc.
2023 R5	Neusignal Therapeutics 株式会社	株式会社ファストトラックイニシアティブ
2023 R5	イメル創薬株式会社	Remiges Ventures, Inc.
2023 R5	シノビ・セラピューティクス株式会社（旧：サイアス株式会社）	Impresa Management LLC
2023 R5	株式会社セルージョン	株式会社東京大学エッジキャピタル パートナーズ
2023 R5	ペリオセラピア株式会社	大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社
2023 R5	ユナイテッド・イミュニティ株式会社	株式会社東京大学エッジキャピタル パートナーズ
2024 R6	株式会社AdipoSeeds	DCIパートナーズ株式会社
2024 R6	Juro Sciences株式会社	みやこキャピタル株式会社
2024 R6	PRD Therapeutics株式会社	ジャフコ グループ株式会社
2024 R6	ジェイファーマ株式会社	Eight Roads Capital Advisors Hong Kong Limited
2024 R6	ティーセルヌーヴォー株式会社	DBJ キャピタル株式会社
2024 R6	トレジェムバイオファーマ株式会社	JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社

採択年度	実施機関	認定VC
2024 R6	メタジェンセラピューティクス株式会社	JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社
2024 R6	リバスキュラーバイオ株式会社	大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社
2024 R6	セレイドセラピューティクス株式会社	株式会社東京大学エッジキャピタル パートナーズ
2024 R6	レグセル株式会社	株式会社東京大学エッジキャピタル パートナーズ
2024 R6	●Red Arrow Therapeutics 株式会社	Beyond Next Ventures株式会社
2024 R6	●reverSASP Therapeutics 株式会社	株式会社ファストトラックイニシアティブ
2024 R6	●シノビ・セラピューティクス株式会社	Impresa Management LLC
2024 R6	株式会社ジェクスヴァル	三菱UFJキャピタル株式会社
2024 R6	●タイプライターTX合同会社	ANV Management, LLC
2024 R6	●リベロセラ株式会社	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
2024 R6	Atransen Pharma 株式会社	ジャフコグループ
2024 R6	オプティアム・バイオテクノロジーズ株式会社	Saisei Ventures LLC
2024 R6	CORE Biomedicine Japan 合同会社	東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
2025 R7	株式会社Arrowsmith	ジャフコ グループ株式会社
2025 R7	AvenCell Japan株式会社	Eight Roads GP
2025 R7	●C4U株式会社	DCI パートナーズ株式会社
2025 R7	株式会社FerroptoCure	ANRI株式会社

採択年度	実施機関	認定VC
2025 R7	リジェネフロ株式会社	DCIパートナーズ株式会社
2025 R7	●Link Therapeutics株式会社	京都大学イノベーション キャピタル株式会社
2025 R7	テンセグリティファーマ株式会社	Newton Biocapital Partners 合同会社
2025 R7	EpiFrontier Therapeuics合同会社	株式会社東京大学エッジキャピタル パートナーズ
2025 R7	サーブ・バイオファーマ株式会社	DCI パートナーズ株式会社
2025 R7	●株式会社センノ・セラピューティクス	Saisei Ventures LLC
2025 R7	●レグセル株式会社	株式会社ファストトラックイニシアティブ
2025 R7	サノダインセラピューティクス株式会社	JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社
2025 R7	●ユナイテッド・イミュニティ株式会社	Saisei Ventures LLC
2026 R8	●合同会社SOLA Biosciences Japan	Curie Bio Operations, Inc.
2026 R8	HISHOH Biopharma株式会社	三菱UFJキャピタル株式会社
2026 R8	アクエリスセラピューティクス・ジャパン株式会社	Catalys Pacific, LLC
2026 R8	株式会社スコヒアファーマ	Beyond Next Ventures 株式会社
2026 R8	●イグアルファン株式会社	Newton Biocapital Partners

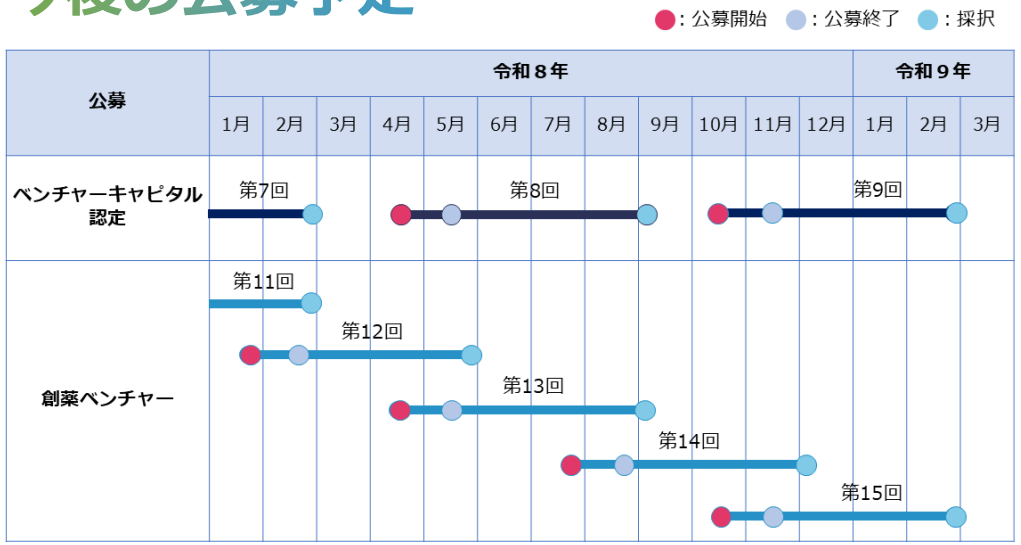
終了課題（IPO達成）

計48課題

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

今後の公募予定・お問い合わせ

今後の公募予定



お問い合わせ先

AMED 創薬エコシステム推進事業部

創薬エコシステム推進事業課

創薬ベンチャーエコシステム強化事業担当

v-eco@amed.go.jp

応募に関する個別相談

応募に関する面談でのお問合せ（個別相談）受付中！
※公募期間中の個別相談は行いません。

- 対象者：本事業に応募を考えているVCや創薬ベンチャー企業の方
- 相談の流れ：E-mailで上記アドレスに相談事項を記載のうえ、お申し込みください。

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

スタートアップ支援の取り組みの全体像

アカデミア

- 研究シーズに投資してもらえない
- 信頼性データ確保のためのリソース不足
- 「再現性」の定義のギャップ
  論文化に必要な「再現性データ」と企業の求める厳密な「再現性確認」との差
- 知財：特許等の観点から研究テーマをオープンにしたくない

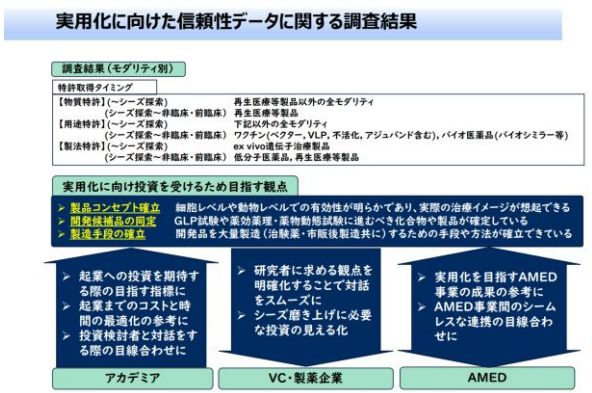
VC・製薬企業

- 投資判断に必要なデータが足りていない
- 信頼性データ取得への投資はリスクがある
- 信頼性データ取得前から伴走支援するだけのリソース不足
- シーズ探索がしづらい
- 適切なタイミングで適切な特許を取得できていない場合があり、投資しづらい

認識の共通化・ノウハウ提供の必要性

信頼性データ

VCが投資評価の為に
アカデミアに求める観点をまとめ
創薬研究者が起業への投資を受ける際に
目指すべき観点を示した
資料「実用化に向けた信頼性データ」を公開



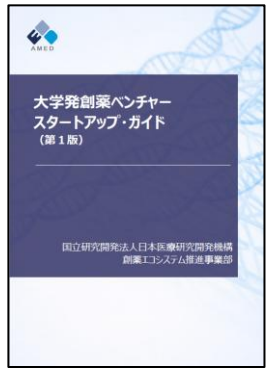
実用化に向けた信頼性データ：投資を受けるため目指す観点

知財・契約戦略【スタートアップ・ガイド】

大学発創薬ベンチャーの起業にあたり
必要な情報や手順と、
知財戦略の重要性と考え方、
技術導入のための契約に関する知識を整理

シーズの見える化

大学や起業したてのベンチャーの
研究シーズのリスト化
VCや製薬企業側のニーズのリスト化
➡マッチングの機会の増加を目指す



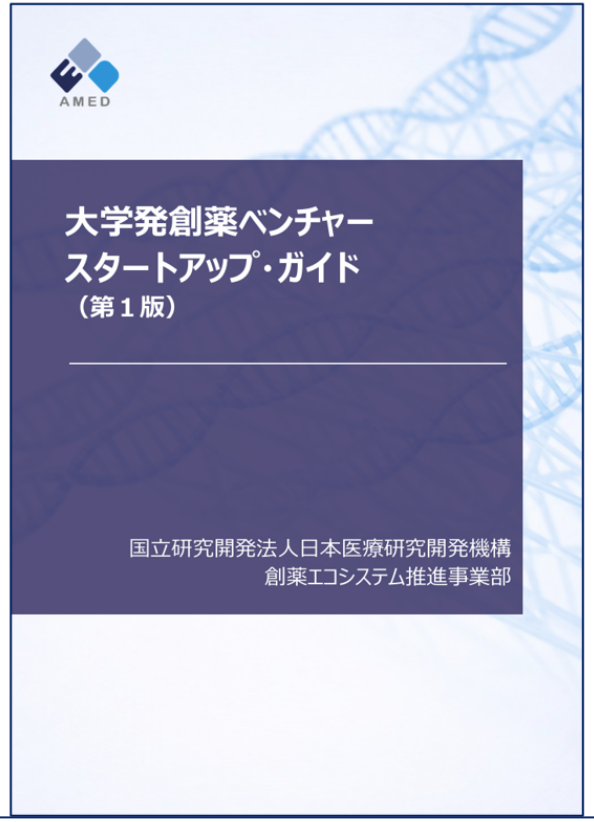
（２月刊行）

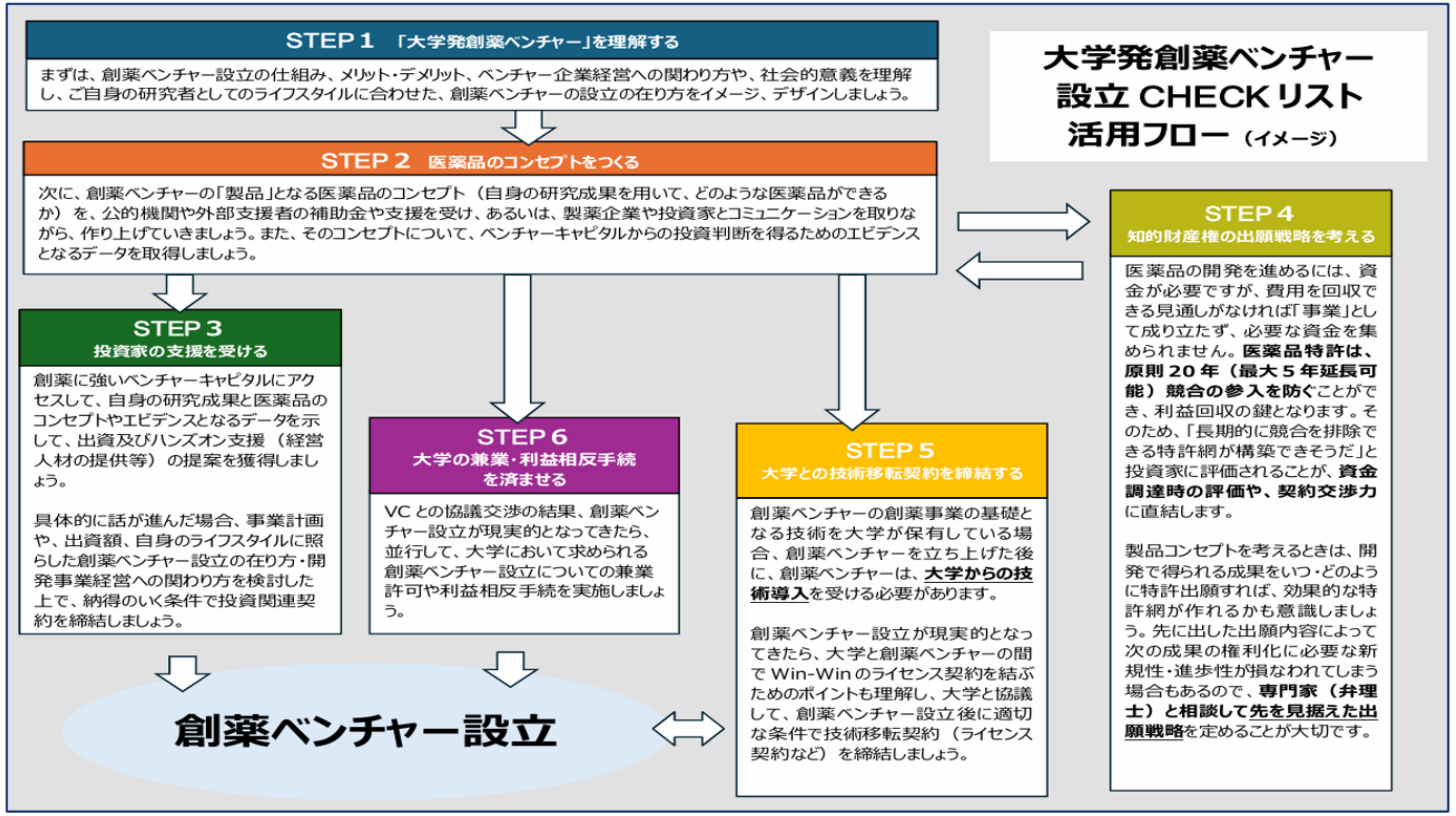
大学発創薬ベンチャースタートアップ・ガイド（第一版）について

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

「大学発創薬ベンチャー・スタートアップガイド」とは

アカデミアの研究者、TLO等を主なターゲットとして、アカデミアの研究成果を基に医薬品を開発する創薬ベンチャーを設立するためのロードマップを示したガイドブック





Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

Appendix

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

事業概要

- 大規模な開発資金の供給源不足を解消するため、創薬に特化したハンズオンによる事業化サポートを行うベンチャーキャピタル（VC）を認定し、その認定したVCによる出資を要件として、非臨床試験、第1相臨床試験、第2相臨床試験もしくは探索的臨床試験の開発段階にある創薬ベンチャーが実施する実用化開発を支援します。
- 特に、創薬ベンチャーの十分な売上や成長を図るべく、日本に加えて海外市場での事業化を行う計画についても積極的に支援します。海外での資金調達又は海外市場での事業化を行うために設立した外国法人の日本子会社である創薬ベンチャーも支援の対象といたします。

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

経済産業省が求める創薬ベンチャーキャピタル

- 創薬ベンチャーエコシステム強化に資する最大限のリターンを得るためには、**薬を世界に届けるための投資・Exitを行うベンチャーキャピタル**が必要。
- そのために重要な**以下の観点を踏まえて認定VCの更新要件を設定することを検討中**。

薬を世界に届ける投資 ・ Exitを行うVC

創薬ベンチャーの成功に向けた観点

① パイプラインのグローバル開発による価値最大化

生み出す医薬品の価値最大化のため、マーケットを国内だけではなく、積極的に海外にも求める。積極的にFDAをはじめとした各国規制当局の承認を目指し、そこに至るまでのロードマップを描くことができる（CRO・CDMOとのつながり含め）。

② M&Aに積極的

医薬品に関する開発・承認取得・販売のノウハウを持つ企業によるM&Aを基本としたExit戦略を描く。

③ IPOの場合には医薬品上市のためのIPOを行う

IPOを目指す場合、創薬ベンチャーによる医薬品上市のためのIPOを行う。東証へのスモールIPOの直後に売り抜けるといったExit戦略を取らない。（100億程度ではなく、上場後の資金調達を見据えた十分な時価総額でのIPOをリード。）

VCの資金調達力の強化に向けた観点

④ VCとしての成長（後継ファンド組成）

現在運用しているファンドよりも大きい金額で後継ファンド組成ができている。（令和13年末までにファンドサイズ2倍が達成できる道筋が描けている。）

⑤ VC運用資金の民間からの調達

運用資金として、政府系資金だけでなく機関投資家・民間金融機関・民間事業会社から出資を受けることができている。

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

①VC公募

認定VCに求められること

- リード投資家として、支援ベンチャーに対して初回投資から補助事業終了までの間に10億円以上の投資を行うこと
- 補助事業期間中は一貫してリード投資家として支援ベンチャーを支援すること

※本事業における「リード」の定義は、原則として本事業の対象期間中の出資額が最大の出資者であり、資金調達やハンズオンを主導する役割を果たす者とします。

認定期間

- 認定日から2事業年度（最長で本事業が終了する事業年度末まで）
- 2事業年度ごとに中間評価を行って認定更新の可否を判断。
  更新回数の制限なし。

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

①VC公募

評価項目

■事業目的との適合性　■資金調達への対応力　■ソーシング能力　■ハンズオン能力

必須要件①

直近５年間でVCとしての全投資金額のうち、1/3以上を創薬分野に投資していること

（創薬分野への出資を行うことに特化したファンドを保有している場合や、評価項目において、創薬ベンチャーに対して特に質の高い支援が可能と評価された場合には、①を満たしていなくとも審査の対象とする。）

必須要件②

リードVCとして、投資先の創薬ベンチャーが行う治験を支援した実績があること

（VCまたはファンドを新規に設立した場合、②の要件については所属する個人※の過去の実績に鑑みて、審査の対象とすることがある。）

必須要件③

リードVCとして、投資先の創薬ベンチャーに取締役を派遣した実績があること

（VCまたはファンドを新規に設立した場合、③の要件については所属する個人※の過去の実績に鑑みて、審査の対象とすることがある。）

※ 投資の意思決定を行うメンバーまたは、ハンズオンを行うメンバーであり投資の意思決定に対し専門的な助言を行うメンバー

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

①VC公募

必須要件④

投資の意思決定を行うメンバー※または、ハンズオンを行うメンバーであり投資の意思決定に対し専門的な助言を行うメンバーに、製薬企業等において医薬品開発を行った経験（薬事・BD（事業開発）・開発企画等）を有する人材、又は医薬品開発を進める上で重要な経験（PMDA、FDA等の機関における審査等）を有する人材がいること

必須要件⑤

投資の意思決定を行うメンバー※または、ハンズオンを行うメンバーであり投資の意思決定に対し専門的な助言を行うメンバーに、グローバルでの医薬品開発に携わった経験（グローバルでの治験を行った経験、グローバルでの治験をハンズオン支援した経験等）を有する人材がいること

※ ジェネラル・パートナー、パートナー等

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

②創薬ベンチャー公募

- 認定VC（リードを必ず含むこと） から補助対象経費の 1/3 以上の金額の出資を受けていること、または、今後出資を受けることが決定していることが必要です。
- 感染症のワクチン・治療薬及び感染症以外の疾患に対する医薬品等の革新的な技術開発を行うものを支援対象とします。ただし、既に上市している医薬品の適応拡大に関する提案は対象外です。
- 非臨床試験、第1相臨床試験、第2相臨床試験もしくは探索的臨床試験の開発段階にある、1つのパイプラインの開発を支援します。最終開発候補品を決定するために必要な試験、調査等も対象とします。
- 開発候補品に関して国内および海外に特許を出願していることが必要です。ただし、戦略上の理由で応募時に出願していない場合は、その戦略（開発戦略、知財戦略、事業戦略、薬事戦略等）の詳細を提案書に記載してください。

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.

②創薬ベンチャー公募

本事業での達成目標（ゴール）

- 第2相臨床試験・探索的臨床試験の終了（POCの取得）
- 補助事業期間の途中でIPO、M＆Aを行った場合は原則として早期終了

審査項目

- 事業趣旨との整合性
- 技術の優位性・有効性など
- 開発目標・開発計画
- 事業計画（ビジネスプラン）
- 認定VCによる支援計画

Copyright 2026 Japan Agency for Medical Research and Development. All Rights Reserved.